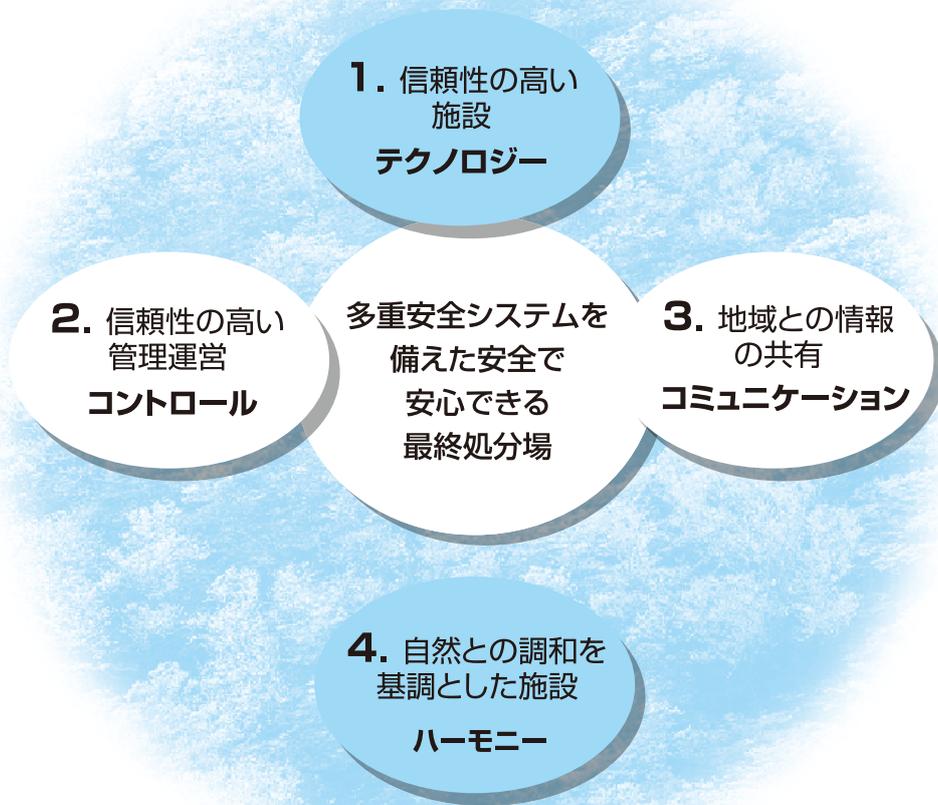


北沢の不法投棄の 解決に向けて(10)

今回は、管理型の最終処分場について、大きく分けて2つの重要な機能が備えられていることを説明しました。今回から、県で計画している処分場の概要について説明していきます。県が那珂川町に計画している処分場は、「馬頭最終処分場基本計画」にある4つのコンセプト(概念)を基本に多重安全システムを備えた、安全で安心できる全国のモデルとなる施設を整備する計画です。

馬頭最終処分場の 4つのコンセプト(概念)



不法投棄現場周辺にかかる水質分析結果

(平成18年度第1回年間変動調査分)

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

調査項目 健康項目、生活環境項目、その他

採水日 平成18年5月8日

採水場所

- 1 周辺環境水 (1) 投棄地直下河川
(2) 小口川上流
- 2 投棄現場 (3) 投棄地下流側浸出水
(4) 投棄地内浸出水

調査結果 → 周辺への汚染拡大の兆候は認められない。

詳細については環境整備対策室(☎0287-92-1110)にお問い合わせください。

コンセプト1 信頼性の高い施設(テクノロジー)

幾重にも安全対策を組み入れた全国でもモデルとなる施設を計画しています。

コンセプト2 信頼性の高い管理運営(コントロール)

周辺環境に影響を及ぼさないような廃棄物の搬入や埋立方法、施設管理、運営方法などを計画しています。

コンセプト3 地域との情報の共有(コミュニケーション)

住民監視システムやGIS(地理情報システム)などを導入し、積極的に情報を公開

する地域に開かれた処分場を計画しています。

コンセプト4 自然との調和を基調とした施設(ハーモニー)

八溝県立自然公園や備中沢の自然環境を活かし、自然との調和が図れるような施設づくりを目指していきます。

処分場は、大きく分けて①施設ゾーン②里山保全ゾーン③水辺空間ゾーンの3つから構成されていますが、ゾーニング計画については次号で説明したいと思います。



ケビンの学校めぐり

ケビン・ブラックバーン

先日、懐かしい声が店内のラジオ放送から流れていました。それは高校生時代によく聞いていたジェームズ・テラーでしたが、歌は初めてでした。曲名は「Our Town（我々の町）」で、テラーの地元の商店街を恋しく思い出している内容ですが、宇都宮市へ出かけた私は那珂川町を恋しく感じました。この歌を初めて聞いたにもかかわらず、とても印象深かったのです。

小学校の英語学習ではいろいろな歌を使っていて、その最中には不思議なことが起こります。授業の中で同じ英単語を習得するにも、フラッシュカードのおうむ鸚鵡返しやゲームの導入では児童の半数しかマスターできないのに、児童が色塗り作業をしながら、この同じ英単語が歌になったCDをBGMとして数回程度聞くと、ほぼ全員がその言葉を身につけます。これらの歌は授業時間だけではなく、何気なく児童は給食を配膳しながら歌っていました！

小中学生の頃、私は夏休みに様々なかたちで音楽を自習しました。ある年、町立図書館の推薦で私はベ-

音楽の夏休み

トーベンの全ての交響曲を繰り返し聴きました。最初、私は眠くなるばかりでしたが、繰り返すうちに少しずつそれぞれの交響曲を区別することができ、今でもベートーベンの交響曲を聴くと、その夏を思い出します。

ある年の夏、両親が海外旅行に出かけている間、既に自立していた兄が家に戻ってきて一緒に留守番をしました。高等学校の先生であった兄はとても優しい反面、厳しい教育者でもありました。その夏、私はロック音楽にはまっていたが、鬼となった兄にはそれを許しませんでした。「音楽はロックだけじゃない。フォーク音楽を聞きなさい」と言われ、両親がいない間、私にはフォーク音楽に専念するしか選択の余地がありませんでした。しかし、振り返ってみると、それでよかったのです。

また別な夏、私と友だちの趣味は、ポップ音楽を聞いてその歌詞を勝手に入れ替え歌うことでした。有名なメロディーを使い、自分たちの悩みやふざけに添って新しい音楽を作っていました。

日本の夏休みは学年の途中にあるため、児童は学校からいろいろな宿題があると思います。しかし、夏休みは文芸についても児童の視野を広げるための最高の機会です。自分自身でも、周りの人の推薦でもいいから、音楽を通して、那珂川町の宝物である子どもたちを磨きましょう。



小川第2保育園は、県道矢板馬頭線沿いの吉野工業所小川第2工場南側に位置し、周りが田んぼに囲まれ、自然に恵まれた環境の中にあります。

春には、田んぼのあぜ道を

じゃくしを探しに出かけ、近くの神社で遊んでは、保育園とは一味も二味も違った自然との触れ合いを満喫しています。

7月7日の七夕まつりでは「お友だちといっぱいお話ができますように」「サッカーが、上手になりますように」「泳げるようになりますように」「ロケットに乗って、宇宙へ行きたい」「大きなスイカがなりますように」「おばあちゃんのバラがきれいに咲きますように」等

お家の人と一緒に、思い思いの願い事を短冊に書いて笹竹に飾りました。

子どもたちは、自分の願い事が叶えられることを信じ、小さな手を合わせて真剣に祈っていました。

散歩し、小さな草花を見つけると「きれいなね」「かわいいね」と感動したり、近くの公園へお花見に出かけたりします。

田んぼに水が入ればおたま

子どもたちは様々な可能性をたくさん秘めています。それらの可能性を少しでも伸ばしてあげられればという思いで、職員一同日々がんばっています。